

# 特集

## 見て、触れて、話して オーストラリア訪問

### 第12回 中学生海外派遣

町では、平成11年から21世紀を担う子どもたちの国際交流活動を促進し、国際感覚を身につけた人材を育成するため、中学生を海外に派遣しています。

今年は、8月5日から12日までの8日間、生徒22名がオーストラリアのケアンズに派遣されました。

参加した生徒たちは、「ホームステイ」や「学校訪問」などの交流活動を通して、外国の文化や歴史、生活習慣などに直接触れ、共に生きていくことの意義を学びました。また、自分の考えや意思を言葉によって表現するコミュニケーションの大切さや、国際理解のための英語力の必要性を感じ取るなど、貴重な体験をしました。

参加した生徒の皆さんに海外派遣後のアンケートをとりましたので、ここに紹介します。



ウォーリー・ステイト・ハイスクールでの集合写真

### 全日程表

月 日	地 名	スケジュール
8/5 (金)	上三川町 成田空港 (機中泊)	午後2時出発式後、成田空港へ 空路、オーストラリア・ケアンズへ
8/6 (土)	ケアンズ着 (ホームステイ)	ホストファミリーと対面式 ホストファミリーデー
8/7 (日)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	ホストファミリーデー
8/8 (月)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	学校訪問・体験授業
8/9 (火)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	学校訪問・体験授業
8/10 (水)	ケアンズ (ホームステイ)	グリーン島研修 (世界遺産グレートバリアリーフ)
8/11 (木)	ケアンズ	キュランダ村1日研修 (世界遺産ディンツリーフォレスト及びアボリジニの文化)
8/12 (金)	ケアンズ 成田空港 上三川町	空路、ケアンズから成田空港へ バスで上三川町へ

### 参加生徒

所属	氏 名
本郷中学校	清水 厚宏
	西田 遼太郎
	中村 百花
	瀧田 翔子
	羽石 彩夏
	野沢 梨来
上三川中学校	倉井 脩磨
	北條 敬晃
	増渕 匠
	廣田 圭佑
	河邊 千尋
	清野 杏
明治中学校	和知 季佳
	小林 祐子
	飯島 和弥
	中山 雅晴
	山西 春貴
	今村 一樹
明治中学校	日垣 智子
	久井 美紀
	奥谷 菜々子
	金田 真侑

# 特集

今回の研修にあたって、  
 ①この研修で学んだことは何ですか？  
 ②今後どう活かしていこうと思えますか？  
 ③今回の研修で一番印象に残っていることを短歌で表現してください。  
 と参加者に3つの質問をし、回答をいただきました。

## 清水 厚宏

①たとえ言葉が分からなくても、コミュニケーションをとることができると。

②相手が異国の人でも話しかけるようになり、自分の英語力を高めたい。

③ホームステイ 自分の力 ためすため 必死に喋る 僕がいた

## 西田 遼太郎

①コミュニケーションの大切さと、頑張るって伝えようとするれば、伝わるというところ。

②コミュニケーションの重要さが分かったので、たくさんの人と関われるように努力をしたい。

③初めてで 恥ずかしいとき 温かく話してくれた ホストファミリー

## 中村 百花

①自分から話しかける積極性の大切さや、努力することの大切さ。

②今回不足していた英語の勉強をしたり、海外に行ったら自分からたくさん話しかけていこうと思う。

③中学校 バディと話して 気がついた 言葉違いが 優しさ同じ

## 瀧田 翔子

①何でも自分から進んでやることと、コミュニケーションの大切さ。

②積極的に行動した経験を活かして、将来の夢の国際的に活動する看護師になるために役立てたい。

③国籍は 違っけれども 温かくしてください ホストファミリー

## 羽石 彩夏

①人との関わり大切さ。自分から笑顔で話しかけることにより、相手とコミュニケーションがとれる。

②将来の夢は外交官になること。これからは更に視野を広げ、もっと様々な国について学び、たくさんの人を救いたい。

③楽しくて 短かったよ 八日間 また行きたいな オーストラリア

## 野沢 梨来

①この研修で得たものは、日本文化との違いを発見すること共に、コミュニケーションをとる大切さ。

②ホストファミリーや周りにいた外国の人々の会話などを用いながら、これから会う人と交流を深め活かしたい。

③他国にいて 初めて出会う 人たちの 温かさ知り 笑顔こぼれる

## 倉井 脩磨

①日本とは違うオーストラリアの異文化と、オーストラリア英語の発音の仕方。

②これまで以上に英語への関心を高め、将来海外留学に行ってもう一度現地の英語を学びたい。

③学生や 町の人々 挨拶し 気軽に返す オーストラリア

## 北條 敬晃

①英語をもっと楽しみたいという考え方と、僕には支えてくれている人がたくさんいるという事。

②相手に上手く英語が伝わらなかつた悔しさをバネにして、もっと英語力を身につけて英語力を活かせる仕事に就く。

③感謝して 異国の海と 未知の旅 己の未来 眩しく光る

## 増淵 匠

①英語力はもちろん、コミュニケーションをとろうとする積極性。良い人間性。

②これから日本人だけでなく外国人と交流する事があると思う。そういった時に積極的にいけるようにしたい。

③青き海 光り輝く サンゴ礁 水 平線が 美しすぎる

## 廣田 圭佑

①交流が深まり積極的に英語が話せるようになった。自然や文化の違いが実際に見て良く分かった。

②英語を使って様々な外国の人たちとコミュニケーションをとり、より英会話を発展させて社会で貢献したい。

③グリーン島 輝く海には サンゴ礁 初めて体験 シュノーケリング



現地の生徒と共に授業を受講

## 河邊 千尋

- ①人との関わりと、自分で言葉を探し、それを口にする。正しいマナーと感謝の気持ち。
- ②誰に対しても親切にして、人と接して人を笑顔にしたい。
- ③学んだよ、言葉で通じる、嬉しさ、我が存在の、小ささを

## 清野 杏

- ①きちんと自分の思っている事を相手に伝えることの大切さ、コミュニケーションをとる事の大切さ。
- ②英語を使って会話をする時があったら、自ら進んでコミュニケーションをとって、自分の英語力を高めていきたい。
- ③ケアンズの 中学校で 授業受け みんな自由で、うらやましいな



キュランダ村で記念植樹

## 和知 李佳

- ①英語、リスニング能力。いつでもどこでも感謝することの能力。
- ②ホームステイをする方たちを受け入れられるようになりたい。
- ③ホームステイ 離れて気づく 家族愛 支えてくれる 友達のこと

## 小林 祐子

- ①他国の私に気軽に話しかけてくれたり、私のことを理解しようとしてくれたことで、心の広さと優しさを知った。
- ②英語という言語に、これまで以上に興味を持ち始めたので、英語と英会話能力を今まで以上に向上させたい。
- ③植樹して オーストラリアに 名を刻む 自然の偉大さ 改めて実感を

## 飯島 和弥

- ①たくさん英語に囲まれて得たりスニング能力と、国際交流により得たコミュニケーション能力。
- ②自分たちの文化とはまた違った文化との交流で、将来留学してみたいし、そういう仕事に就きたい。
- ③初めての ホームステイで 驚きと 数えきれない 大発見

## 中山 雅晴

- ①ほとんど英語だけの生活を通して、日本にきた外国人がどんなことを考えているかを、考えられるようになった。
- ②英語力はまだまだだということが分かったので、これからもっと勉強してもっと話せるようにしたい。
- ③ホームステイ すぐに時間が過ぎて行き 気づいた時には 別れの時

## 山西 春貴

- ①英語の難しさをすごく感じた。また、オーストラリアは差別や偏見をしないこと。
- ②海外で活動、仕事をしたい。英語を話せるようになるきっかけを今回の研修にする。
- ③海外で 改めて知った 英語での コミュニケーションの 難しさ

## 今村 一樹

- ①学校で学ぶだけでは、得られない英語力。
- ②もつと英語を学んで外交官になりたい。
- ③空手した さよならパーティー 楽しくて ファミリー共に 大はしやぎ

## 日垣 智子

- ①積極的に話しかけようとする気持ちと、ジェスチャーなどで相手とコミュニケーションをとろうとする気持ち。
- ②外国の人と会話をする時に、今回学んだコミュニケーションのとり方を活かしていきたい。
- ③ありがとう 教えてもらい 言った時 笑顔になった ホストファミリー



グレートバリアリーフをバックに記念撮影

久井 美紀

①海外で英会話をする難しさや、文化・その他にも臨機応変に責任を持った行動は将来的にも大切。  
②文化や英会話の難しさなどを学んだことを、将来海外で、英会話で意志を伝え、文化を学び、仕事をした。

③美しき 第二の故郷 オーストラリア ホームステイは 心の思い出  
奥谷 菜々子

①文化や生活習慣、話す言葉が違って、伝えたい気持ちさえあれば、心は通じる。

②明るく振る舞い、相手に自分の意志をはっきり伝えて行きたい。

③ホームステイ 言葉の壁を 乗り越えて 勇気と笑顔で 心はつながる

金田 真侑

①学校訪問やホームステイで学んだ、言葉が上手く伝わらない中での交流。

②言葉が上手く話せない中での自分の感情の伝え方を学んだ。これを留学や日頃の生活に活かしたい。

③ロープウェイ 上から見れたユリシスを キュランダ村の 大自然

## 貴重な出会いや体験を忘れずに

団長 五月女 優

(明治中学校教頭)

第12回上三川町中学生海外派遣事業は、派遣生徒が男子10名、女子12名と例年になく男子生徒の多い研修となりました。

初日にはホストファミリーとの出会いがあり、期待と不安の中で4日間のホームステイが始まりましたが、別れのときは涙を浮かべながらファミリーと抱き合い、別れを惜しんでいました。

5日目にはグレートバリアリーフのグリーン島で、青く透き通ったサンゴ礁の海で泳いだり、偶然出会ったイタリアの少年とビーチバレーボールに夢中になるなど、美しい大自然を満喫することができました。



最後に、このような素晴らしい機会を与えていただきました上三川町と教育委員会に心より感謝を申し上げますとともに、派遣された生徒たちにはこの貴重な体験を無駄にすることなく精進することを望みます。

▼問い合わせ先＝

教育総務課 学校教育係

☎9155

## 報告会

8月19日(金)に報告会が、上三川町役場大会議室で開催されました。

今回の海外派遣に同行した先生方や添乗員の方からは、「約束事はしっかり守ることができた。時間に関してもよく動いて、ゆとりを持って活動ができた」また、「生徒みんなが自主性を持って行動できた」と町の代表として参加したことの意識の高さを評価しておりました。

貴重な体験をした中学生たちは、「自分の気持ちをいかに伝えるか、その大切さを知りました」「言葉や文化が異なっても、伝えたい気持ちがあれば、きちんと伝わると感じました」など、互いが積極的にコミュニケーションをとろうとすることは、とても大切なことであると気づいたようです。また、「ファミリーやバディ、また、東日本大震災でみんなが大変なときに、海外派遣に行かせてくれた人たちに感謝しています」「家族に感謝したいです」など、私たちの生活は、人と人の係わり合いの中で成り立っていて、お互いに助け合いが必要なこと、また日頃から感謝の気持ちを伝えることの大切さを学んだようです。



篠原教育長からは、「人を思いやる温かい気持ち、感謝の気持ちそういう精神文化を大事にしてください。そして、上三川町の中学生から広げて世界に発信してってください。」と、自信を持ち、国際的にも活躍できる日本人へと成長していってくれることに期待した言葉がかけられ、締めくくられました。